

26 森のかくれんぼく立山ジョイ・フレンド1③		～キャンプ場のサイトや森を使ったゲーム～	
主なねらい ○友とのきずなを強める ○グループで協力する ◎グループ意識を高める ○個の活躍と承認のチャンス ○生物擬態等について関心をもつ	適 期	4月～11月	
	所要時間	30分間程度 (時間を決めて実施も可能)	
	対 象	幼児～	
準備物	学校・団体 野外活動のできる服装、筆記用具 (必要に応じて時計)		自然の家 森のかくれんぼ人工物一式 (約30個) 記入用紙 (グループに1枚)、 解答 (指導者用)



スタッフでセッティング



つり下げた人工物(軍手)

1 ゲームの説明

ボール、スプーンなど、30個程度の人工物を指導者が、不動棟からトントンの森への小道(40mぐらい)、あさぎりの森、こもれびの森の下の方などの決められた範囲の木にぶら下げたり、置いたりします。(10グループ程度の場合までは、順番に探しに行くようにします。)

- 「この小道のすぐ脇に、人工のものが30個ほど木にぶら下げられたり、地面に置かれたりしています。班で協力して、見つけて頭で覚えてきてください。ここに戻ってきたら、記入用紙を渡しますので、記入してください。」
- 「見つけてもそれを動かしたり、隠したりしてはいけません。見て覚えるだけです。グループでの相談は、小さな声でしてください。」

※時間がある場合は、全ての班が終わった後にもう1回見つけに行くといよいでしょう。

2 ゲームの約束

(1) 時間について

森の下で範囲を決める方法では、制限時間を15分程度にします。制限時間がきたら一回集合するようにしておきます。各グループが時計を見て集まるか、指導者が笛で合図をして集合します。集合後、見つけ具合を見て、延長することもできます。

(2) その他

元々あった人工物も答えとして認めます。

3 評価

- ・答え合わせの時に、全員で隠されたものを確かめながら行ってもよいでしょう。
- ・その場合、自然の中でどんな色のものが、どんな形のものが見つかりやすく、また、見つかりにくい意見聞くことをおすすめします。できれば、そのような視点で自然界の生き物について結びつけることも可能です。

4 バリエーション

2グループ対抗で、2つの森に違った人工物を子どもたちがセットして、お互いに見つけ合う。